

令和5年度「小学生対象ライフサイエンス教室」を紹介します。

令和5年8月19日に本学にて、地域連携推進センター主催の小学生を対象としたライフサイエンス教室を開催しました。当日は12組の小学生やご家族の方に参加していただくことができました。また、今回の体験実習については、ケーブルメディア四国から取材を受け、テレビにて8月28日から1週間放映されました。

教室は二つのコースを開催しました。1つ目のコースは看護学科の松村先生が「自然な体の動きと姿勢を解き明かそう」というテーマで実施しました。ここでは、体の動きを科学的に解明するために、自分の体の動きを活用して、人を移動する演習を行いました。

2つ目のコースは臨床検査学科の大栗先生が「きみの筋肉はムキムキか？ムキムキ筋肉チェック！」というテーマで体験実習を行いました。小学生自身が超音波検査や神経伝導検査、呼吸筋検査を体験した後、家族の筋肉をチェックしました。

当日は、健康サポーターである学生も運営側として参加し、運営スタッフと参加者が一緒に楽しみながら体験実習を行うことができました。今後もこのような催し物を開催し、地域の小学生たちが将来医療職を目指すきっかけになってもらえたらと思います。

地域連携推進センター 大栗聖由、藤村保志花



筋肉チェックの前に、ゼリーを使って超音波検査の練習中！



重さを分散させて持ち上げる事で、小学生でもお母さんを持ち上げられます！